

2019 年度（対象年度：2017～2018 年度）自己点検・評価シート

自己評価組織	経営情報学部
--------	--------

基準 1	理念・目的
------	-------

1. 自己点検・評価結果 < 評定 >

自己評価欄に「A：高い水準で取り組んでおり、その取り組みが長所・特色となっている」「B：概ね取り組んでいるが、若干改善すべき点がある」「C：取り組んではいるが、改善すべき点が多い」「D：今後取り組んでいく」の4段階で記入してください。

項目 No.	自己点検・評価項目	自己点検・評価の視点	自己評価
0101	大学の基本理念・使命・教育目的を適切に設定していますか。また、それを踏まえ、学部・研究科の教育研究上の目的を適切に設定していますか。	(2) 学部(学科)・研究科(専攻)の教育研究上の目的は、教育組織の特色を明確にしたものですか。	A
		(3) 学部(学科)・研究科(専攻)の育成する人間像は、明確ですか。	A
		(4) 学部(学科)・研究科(専攻)の教育研究上の目的と大学の基本理念・使命・教育目的は、関連性があるものになっていますか。	B
0102	大学の基本理念・使命・教育目的および学部・研究科の教育研究上の目的を学則またはこれに準ずる規則等に適切に明示し、教職員および学生に周知し、社会に対して公表していますか。	(1) 学部(学科)・研究科(専攻)の目的や人間像は、適切な媒体を使って明示していますか。 ・明示媒体(例えば学生便覧とホームページなど)との記述の齟齬	A
		(2) 教職員、学生、社会に対する刊行物、ホームページ等により大学の基本理念・使命・教育目的、学部・研究科の教育研究上の目的等が周知および公表されていますか。 ・構成員(教職員および学生)への周知	A

2. 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「自己点検・評価項目」毎に具体的に説明してください。

現状、「何を」規定または実施していて、「いつ」「どの会議で(誰が)」「どのように(指標・方法)」検証を行い、「どのように(基準)」自己点検していますか。
0101 2016年の学部改組の際に、大学の基本理念・使命・教育目的に基づいて、学部および学科の研究教育上の目的、育成する人材像を明確に設定[0101a][0101b]し、明文化した。
0102 経営情報学部(学科)の教育研究上の目的などについては、「学生便覧」により提示[0101a]し、構成員(教職員および学生)への周知を図っている。
0102 「経営情報学部教育理念・使命ポスター」[0102a]を作成し、学部建物内の数カ所に掲示することで、本学部の教育研究上の目的および大学の基本理念との関連性について、在学生に対する周知を図っている。

0102 「経営情報学部教育理念・使命クリアファイル」[0102b]を作成し、在学生に配布することにより、本学部の教育研究上の目的および大学の基本理念との関連性の周知を図っている。	
0102 中部大学ホームページ内「情報公表」[0102c]において、本学部の教育研究上の目的および大学の基本理念を学内外に広く公表している。平成28年度設置の経営総合学科については、設置の際に作成した設置届出書（趣旨理由書）[0102d]をもとに学生便覧[0101a]、および学科パンフレットを作成し、また、そのパンフレットをベースとして、学科HP[0102e]が作成されている。パンフレット[0102f]などは学生募集向けに高校生にわかりやすい言葉に書き換えられていたりするものの、これらの間に記述上の齟齬はない。	
0102 中部大学ホームページ内の経営情報学部ホームページ[0102e]において、本学部の教育研究上の目的および大学の基本理念を学内外に示している。	
0102 中部大学経営情報学部経営総合学科パンフレット[0102f]に、本学部の教育研究上の目的および大学の基本理念を掲載し、受験生やその父母を中心とする学外に対して示している。	
0101・0102 自己点検に関しては、ともに、大学の担当部署がHPや『学生便覧』[0101a]の更新・改定を行い、学部担当者（学部長、学科主任など）がそのつど校正することで自己点検している。表現などの微調整はおこなっているものの、大もとの教育目標・育成人物像自体は毎年見直すべきものではなく、2016年度の新学科発足以来、変更の必要が生じていないため、変更していない。	
長所・特色 《箇条書き》 *先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の範となるもの	
項目 No. 0102	「経営情報学部教育理念・使命ポスター」[0102a]の掲示や「経営情報学部教育理念・使命クリアファイル」[0102b]の配布などを通じて、在学生に本学部の教育研究上の目的および大学の基本理念との関連性の周知を図っている。
項目 No. 0102	大学の基本理念・使命・教育目的、学部・研究科の教育研究上の目的等は、大学HP[0102c]に公表することで、広く社会に示している[0102e]。
課題事項 《箇条書き》 *改善すべき点、向上すべき点	
項目 No. 0102	学部ホームページおよび学科パンフレットには、学部(学科)の教育研究上の目的と大学の基本理念・使命・教育目的の関連性についての記述がない。
項目 No.	

3. 改善・向上に向けた取り組み

前年度の自己点検・評価の評価結果（【留意点】等）への対応も含め、改善・向上に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

<改善・向上の進捗状況>

対象年度における取組 *成果の有無を問わない、前回の自己点検・評価シート作成時点での計画の有無を問わない	
0102	経営情報学部教育理念・使命ポスターの掲示や経営情報学部教育理念・使命クリアファイルの配布などを通じて、在学生に本学部の教育研究上の目的および大学の基本理念との関連性の周知を図っている。

<今後の改善・向上計画>

項目 No.	課題事項と向上・改善方策（到達目標を含む）
0102	学部パンフレット及び学部のホームページにおいて、学部(学科)の教育研究上の目的と大学の基本理念・使命・教育目的の関連性についての記述がないなどの問題もあり、学部学科の教育上の目的などについての記述も含め、その内容を再検討する。

4. 根拠資料

根拠資料 No.		根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		
0101	a	学生便覧（該当箇所：2017年版 pp113-114、2018年版 pp. 111-112）	A
0101	b	経営情報学部 経営総合学科「設置届出書」資料1 https://www3.chubu.ac.jp/about/application/	A
0102	a	「経営情報学部教育理念・使命ポスター」	A
0102	b	「経営情報学部教育理念・使命クリアファイル」	A
0102	c	中部大学 HP「情報公表」内「学部・学科の情報」 https://www3.chubu.ac.jp/facts_figures/study/undergraduate_list/	A
0102	d	経営情報学部 経営総合学科「設置届出書」設置の趣旨理由書（該当箇所：pp2-5） https://www3.chubu.ac.jp/about/application/	A
0102	e	中部大学 HP「経営情報学部」経営情報学部の特長 https://www3.chubu.ac.jp/business/feature/	A
0102	f	「経営総合学科パンフレット」	A

提出区分 … A：本シートと一緒に提出する資料 B：現部署で保管

2019 年度（対象年度：2017～2018 年度）自己点検・評価シート

自己評価組織	経営情報学部
--------	--------

基準 2 内部質保証

1. 自己点検・評価結果 <評定>

自己評価欄に「A：高い水準で取り組んでおり、その取り組みが長所・特色となっている」「B：概ね取り組んでいるが、若干改善すべき点がある」「C：取り組んではいるが、改善すべき点が多い」「D：今後取り組んでいく」の4段階で記入してください。

項目 No.	自己点検・評価項目	自己点検・評価の視点	自己評価
0203	方針および手続きに基づき、内部質保証システムは有効に機能していますか。	(4)外部評価（学内内部評価を含む）を自己点検・評価に取り入れていますか。	B

2. 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「自己点検・評価項目」毎に具体的に説明してください。

現状、「何を」規定または実施していて、「いつ」「どの会議で（誰が）」「どのように（指標・方法）」検証を行い、「どのように（基準）」自己点検していますか。	
0203	2018 年度に自己点検・評価の年度点検[0203a]を実施したが、学部組織としての外部評価は2017 年度、2018 年度ともに実施されていない。
0203	2018 年度自己点検・評価の年度点検の結果について、教授会にて公表[0203b]し、教職員間で情報を共有した。
0203	個々の教員はFD 活動の一環として年度始めに「教育活動重点目標」（2018 年度は「教員活動重点目標」）を設定し、年度末に「自己評価シート」[0203c][0203d]による振り返りを行い、教育の質の向上と各々の資質向上[0203e]に努めている。その自己評価を主任会において点検して評価し、学部ポイント（全体の60%分）として点数化して、大学教育研究センターが運営する教育活動表彰制度に情報提供[0203f][0203g]し、改善努力を奨励している。
0203	2017 年度および2018 年度の教育活動顕彰制度の学部ポイントの評価基準・方法の見直しについて、主任会[0203h][0203i]にて検討を行った。
長所・特色 <<箇条書き>> *先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の範となるもの	
項目 No.	特になし
項目 No.	
課題事項 <<箇条書き>> *改善すべき点、向上すべき点	
項目 No. 0203	対象年度に至るまで、学内内部評価を含む外部評価を本学部の自己点検・評価に取り入れることができていない。
項目 No.	

3. 改善・向上に向けた取り組み

前年度の自己点検・評価の評価結果（【留意点】等）への対応も含め、改善・向上に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

<改善・向上の進捗状況>

対象年度における取組 *成果の有無を問わない、前回の自己点検・評価シート作成時点での計画の有無を問わない	
0203	2018年度より本学で試行実施されているこの自己点検・評価業務が、まさに改善の取り組みであり、本学度は年度点検を実施した。

<今後の改善・向上計画>

項目 No.	課題事項と改善・向上方策（到達目標を含む）
0203	2018年度より本学で試行実施されているこの自己点検・評価業務が、まさに改善の取り組みである。2019年度[0203j][0203k]については、自己点検・評価シートの作成後、6月から7月にかけてピアレビューおよびそのヒアリングが行われ、その後、学内に設置されたピアレビュー委員会において、組織単位の評価を受けることとなる。その評価結果を受けて、改善策を策定して改善計画書を作成、改善計画を実施に移していくことになる。

4. 根拠資料

根拠資料 No.		根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		
0203	a	2018年度（対象年度：2017年度）自己点検・評価シート「経営情報学部」（中部大学ホームページ「情報公表」2018年度（対象年度：2017年度）自己点検・評価の結果について） https://www3.chubu.ac.jp/facts_figures/evaluate/self_evaluation/2017report/	B
0203	b	2018年度第2回経営情報学部教授会議事録	A
0203	c	2017年度 教育活動重点目標・自己評価シート	A
0203	d	2018年度 教員活動重点目標・自己評価シート	A
0203	e	教育活動顕彰制度—より良い教育を目指して—（2018年度実施要項）	A
0203	f	2017年度経営情報学部評価シート	A
0203	g	2018年度経営情報学部評価シート	A
0203	h	2017年度第10回経営情報学部主任会議事録	A
0203	i	2018年度第10回経営情報学部主任会議事録	A
0203	j	2019年度中部大学自己点検・評価年間スケジュール	A
0203	k	中部大学自己点検・評価実施要項 https://www3.chubu.ac.jp/facts_figures/evaluate/self_evaluation/	A

提出区分 … A：本シートと一緒に提出する資料 B：現部署で保管

2019 年度（対象年度：2017～2018 年度）自己点検・評価シート

自己評価組織	経営情報学部
--------	--------

基準 4 教育課程・学習成果（1）

1. 自己点検・評価結果 <評定>

自己評価欄に「A：高い水準で取り組んでおり、その取り組みが長所・特色となっている」「B：概ね取り組んでいるが、若干改善すべき点がある」「C：取り組んではいるが、改善すべき点が多い」「D：今後取り組んでいく」の4段階で記入してください。

項目 No.	自己点検・評価項目	自己点検・評価の視点	自己評価
0401	授与する学位ごとに、卒業認定・学位授与の方針（DP）を定めて、公表していますか。	(1) 課程修了にあたって、学生が修得することが求められる知識、技能、態度等、当該学位にふさわしい学習成果を明示した卒業認定・学位授与方針（DP）の適切な設定を行い、公表をしていますか。 ・当該学位にふさわしい学習成果の設定 ・卒業認定・学位授与方針（DP）の設定	A
0402	授与する学位ごとに、教育課程の編成・実施方針（CP）を定めて、公表していますか。	(1) 学位ごとに、教育課程の体系、教育内容を備えた編成・実施方針の設定になっていますか。	A
		(2) 学位ごとに、教育課程を構成する授業科目区分、授業形態等を備えた編成・実施方針の設定になっていますか。	A
		(3) 授与する学位ごとに、教育課程の編成・実施方針を社会に対し、公表していますか。	A
		(4) 卒業認定・学位授与の方針（DP）と教育課程編成・実施の方針（CP）は適切な連関性となっていますか。 ・「卒業認定・学位授与の方針（DP）」⇔「教育課程の編成・実施方針（CP）」との整合	B
0403	教育課程の編成・実施方針（CP）に基づき、各学位課程にふさわしい授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成していますか。	(1) 教育課程の編成・実施方針（CP）と教育課程の整合性はとれていますか。	A
		(2) 教育課程の編成にあたっての順次性および体系性への配慮をしていますか。（ナンバリング、カリキュラムマップ）	B
		(3) 単位制度の趣旨に沿った単位の設定をしていますか。	A
		(4) 個々の授業科目の内容および方法は適していますか。	B
		(5) 授業科目の位置づけ（必修、選択等）は適切ですか。	B

0403	教育課程の編成・実施方針（CP）に基づき、各学位課程にふさわしい授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成していますか。	(6) 各学位課程にふさわしい教育内容を設定していますか。 【学士課程】 初年次教育、高大接続への配慮、教養教育と専門教育の適切な配置等 【修士課程、博士課程】 コースワークとリサーチワークを適切に組み合わせた教育への配慮等	B
		(7) 学生の社会的および職業的自立を図るために必要な能力を育成する教育を適切に実施していますか。	B

2. 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「自己点検・評価項目」毎に具体的に説明してください。

現状、「何を」規定または実施していて、「いつ」「どの会議で（誰が）」「どのように（指標・方法）」検証を行い、「どのように（基準）」自己点検していますか。	
0401・0402 学部学科の学位授与の方針（DP）、教育課程の編成・実施方針（CP）については、学部改組の際に、その適切性を十分に検討した上で設定し、中部大学ホームページ内「情報公表」[0401・0402a]ウェブサイトにおいて広く社会に公表している。	
0401・0402 「学生便覧」[0401・0402b] [0401・0402c]により、学部学科の学位授与の方針（DP）、教育課程の編成・実施方針（CP）を在学生に示している。	
0403 「学生便覧」[0403a] [0403b]により、養成する4つの人材像の目的を達成するための科目区分や年次配当などが説明され、教育目標と卒業要件・教育課程の関連性を在学生に示している。また、毎年の便覧改定の際には学科主任がその確認を行っている。	
0403 学部改組の際の教育課程の編成にあたっては、CPに沿った体系的、かつ、学習内容の順序性を考慮した科目の配置を行い、すべての授業科目の分類・難易度等について、「科目ナンバリング表」[0403c]により在学生に示している。	
0403 初年次教育、キャリア教育等は、全学共通教育科目として適切に配置[0403d] [0403e]されているほか、学部専門科目におけるキャリア教育科目の設置[0403f] [0403g]や正課外での学部キャリア支援行事（ビジネスマナー講座）[0403h] [0403i]などを実施している。	
長所・特色 <<箇条書き>> *先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の範となるもの	
項目 No. 0402	科目ナンバリング[0403c]を導入し、学生の科目選択に資するために冊子として全学生に配布している。
項目 No. 0403	学生による授業アンケートをおこない、集計結果を各教員に提示すると共に学生からの意見に対する教員からの返答を公開[0403j]している。
課題事項 <<箇条書き>> *改善すべき点、向上すべき点	
項目 No. 0402	学科の「履修モデル」が作成され、パンフレットなどに公表されているものの、学生の履修指導に十分に活用されていない。
項目 No. 0403	カリキュラムマップが作成されているものの、十分に公表されておらず、活用されていない。

3. 改善・向上に向けた取り組み

前年度の自己点検・評価の評価結果（【留意点】等）への対応も含め、改善・向上に向けた取り組みについて、

第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

<改善・向上の進捗状況>

対象年度における取組 *成果の有無を問わない、前回の自己点検・評価シート作成時点での計画の有無を問わない	
0403	シラバス第三者点検[0403k]により、各学科の CP と個々の授業科目の内容および方法の適合性の確認を行った。

<今後の改善・向上計画>

項目 No.	課題事項と改善・向上方策（到達目標を含む）
403	経営総合学科の「カリキュラムマップ」・「履修モデル」について、再検討・見直しを行い、在学生に対してより伝わりやすい形で提示、周知を行う。

4. 根拠資料

根拠資料 No.		根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		
0401 ・0402	a	中部大学ホームページ内「情報公表」 https://www3.chubu.ac.jp/facts_figures/study/undergraduate_list/	A
0401 ・0402	b	2017 年度学生便覧（該当箇所 pp. ⑭－⑯）	A
0401 ・0402	c	2018 年度学生便覧（該当箇所 pp. ⑭－⑯）	A
0403	a	2017 年度学生便覧（該当箇所 pp. 113－120）	A
0403	b	2018 年度学生便覧（該当箇所 pp. 111-118）	A
0403	c	科目ナンバリング表(2017 年度および 2018 年度)	A
0403	d	2017 年度学生便覧（該当箇所 pp. 116－117）	A
0403	e	2018 年度学生便覧（該当箇所 pp. 114-115）	A
0403	f	2017 年度学生便覧（該当箇所 p. 119）	A
0403	g	2018 年度学生便覧（該当箇所 p. 117）	A
0403	h	2017 年度経営情報学部ビジネスマナー講座開催のお知らせ（メール）	A
0403	i	2017 年度経営情報学部ビジネスマナー講座開催のお知らせ（メール）	A
0403	j	魅力ある授業づくりのために https://quest.chubu.ac.jp/LessonEval/L001VIEW.do	B
0403	k	シラバスの第 3 者点検について（依頼）	A

提出区分 … A：本シートと一緒に提出する資料 B：現部署で保管

2019 年度（対象年度：2017～2018 年度）自己点検・評価シート

自己評価組織 経営情報学部

基準 4 教育課程・学習成果（2）

1. 自己点検・評価結果 < 評定 >

自己評価欄に「A：高い水準で取り組んでおり、その取り組みが長所・特色となっている」「B：概ね取り組んでいるが、若干改善すべき点がある」「C：取り組んではいるが、改善すべき点が多い」「D：今後取り組んでいく」の4段階で記入してください。

項目 No.	自己点検・評価項目	自己点検・評価の視点	自己評価
0404	学生の学習を活性化し、効果的に教育を行うための様々な措置を講じていますか。	(1) 各学位課程の特性に応じた単位の実質化を図るため、1年間または学期ごとの履修登録単位数の上限設定等の措置を講じていますか。	A
		(2) シラバスに次の内容を組み込んでいますか。また、授業はシラバスどおりに行われていますか。 ・ 授業の目的、達成目標、学習成果の指標、授業内容および方法、授業計画、授業準備のための指示、成績評価方法および基準等の明示 ・ 授業内容とシラバスとの整合性の確保	B
		(3) 学生の主体的参加を促す授業形態、授業内容および授業方法を講じていますか。	B
		(4) 授業の編成および管理運営は適切に行っていますか。 【学士課程】 ・ 授業形態に配慮した1授業あたりの受講者数になるように授業の編成を行っていますか。 ・ 履修指導等のガイダンスは適切に実施していますか。 【修士課程、博士課程】 ・ 研究指導計画(研究指導の内容および方法、年間スケジュール)を明示していますか。また計画に基づく研究指導を行うように取り組んでいますか。	B
0405	成績評価、単位認定および学位授与は適切に行っていますか。	(1) シラバスに掲げている「達成目標」に基づき、成績評価がなされていますか。 ・ シラバス記載の「達成目標」「成績評価方法」に基づく成績評価	B
		(2) 既修得単位の認定は、明確な定めに基づき適切に行われていますか。 ・ 規程等に基づく単位認定のプロセス	A
		(3) 成績評価の客観性、厳格性を組織的に確認していますか。	B

0405	成績評価、単位認定および学位授与は適切に行っていますか。	(4) 卒業・修了要件を明確に定めていますか。	A
		(5) 学位論文審査がある場合、学位論文審査基準が明確に示されていますか。	B
		(6) 学位審査および修了認定の客観性および厳格性を確保するためにどのような措置を施していますか。	B
		(7) 学位授与に係る責任体制および手続は明確に示されていますか。	A
		(8) 適切な学位授与を行っていますか。	A

2. 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「自己点検・評価項目」毎に具体的に説明してください。

現状、「何を」規定または実施していて、「いつ」「どの会議で（誰が）」「どのように（指標・方法）」検証を行い、「どのように（基準）」自己点検していますか。
0404 単位制度の趣旨を考慮した単位の実質化を図るための措置として、CAP制(履修単位制限)[0404a][0404b]が導入されている。
0404 シラバスの記載内容には、カリキュラムの中での位置付け、身につく基礎力、授業の主旨(概要)、具体的達成目標、授業計画、授業方法、成績の評価方法、成績の評価基準、教科書、参考文献[0404c]があり、シラバスに必要な内容を網羅している。
0404 第三者によるシラバス点検を実施[0404d]し、授業主旨、授業計画(授業内容・授業外学習)、授業方法、評価方法などがDP・CPに基づく「カリキュラムの中での位置付け」とDPに対応した「身につく基礎力」などに相応しいか否かを判断し、不備がある場合には科目担当者に修正を求めている。
0404 授業内容とシラバスの整合性の確保に関しては、学期末に実施される学生による「授業評価」アンケートの自由記述、教務モニター制度の学生意見等から間接的に検証[0404e]しているものの、基本的にはこの点検は科目担当者本人が行ない、改善も担当者の良心に委ねられている。
0404 授業時間外における学生の学修を促進するために、シラバスにおいて「授業外学習」[0404f]欄を毎回の授業ごとに設けている。
0404 授業編成および管理運営に関して、全学共通教育科目などを中心に、授業形態や内容、必要設備に応じて受講者数の制限を設けている[0404g][0404h]。また、学部コア科目や学部基礎科目、受講生が多く見込まれる科目などでは、2～3の複数クラスを設置し、また、ゼミナールなどにおいては定員設定を厳格に行い、少人数クラスでの指導を徹底している。また、過去の受講者数などを参考に受講学生数を予測してクラス数の決定、曜日や時限の変更、同一時限に配置する科目の変更などを行い、クラスサイズの適正化を図っている。
0404 学期はじめのオリエンテーションにおいて、その学期の履修上の注意を与えるなどの履修指導ガイダンスを行うとともに、その翌日には、履修相談の時間をもうけ、学生からの相談対応[0404i][0404j]を行っている。また、指導教授による履修相談も、随時、行われている。
0405 シラバスに掲げている「達成目標」に基づき、成績評価がなされているかについては、シラバスに明示された成績の評価方法および成績の評価基準[0405a]にしたがって、各教員(評価責任者)が成績評価を行っており、成績評価に疑問がある場合には、受講生が一定期間内に確認を願い出ることができる制度を設けている。

0405 留学や編入学に伴う既修得単位の認定に関しては、中部大学学則第10条・第11条[0405b]に明記されており、具体的な科目の認定については、学科主任が原案を作成した上で主任会において協議・決定し、教務支援課に提案した上で、教授会で承認することになっている。	
0405 成績評価方法の客観性・厳格性に関しては、「成績評価の方法」「成績評価の基準」についてシラバスの第三者点検を実施[0404d]し、確認しているが、成績評価自体の客観性、厳格性を組織的に確認することはしていない。	
0405 卒業要件は、中部大学学則第18条[0405c]および学生便覧[0405d][0405e]に明記されている。	
0405 学位論文審査基準は、学科の「卒業研究」[0405f]のシラバスの「成績評価方法」「成績評価基準」に明記されているが、具体的に、どの程度のものがどのような評価を得るのかの基準は明文化されておらず、実際には、各指導教員の裁量に委ねられている。	
0405 学位審査の客観性および厳格性を確保するために、経営総合学科では卒業研究発表会などの実施が予定されている[0405g]。2017年度の旧学科においては、学生による卒論発表の形態や成果物の保管などは各教員の裁量に委ねられていたが、2018年度には、すべての卒業論文を各指導教員より学科主任に提出[0405h]することとし、その内容を確認できるようにした。	
0405 学位授与に係る責任体制および手続は中部大学学位規程第5条[0405i]に明確に示されている。学部教授会[0405j][0405k]において卒業認定がなされ、中部大学学位規程に則り卒業認定されたものに学位授与される。	
長所・特色 《箇条書き》 *先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の範となるもの	
項目 No. 0405	年度末において卒業判定に関する学部教授会[0405j][0405k]を開催している。
項目 No. 0405	毎年のシラバスの第三者点検[0404d]により、教育内容、授業計画、成績評価基準等の適切性について第三者による確認を行っている。
課題事項 《箇条書き》 *改善すべき点、向上すべき点	
項目 No. 404	シラバスと授業内容と整合性については、「授業評価」の結果などから間接的に検証する以外の方法を持っていない。
項目 No. 405	ほとんどの授業科目における成績評価の基準等については、学部内で厳密な指針はなく、各担当者の判断に委ねられている。
項目 No. 405	卒業論文の審査基準は特に明文化されておらず、個々の学生の論文審査は指導教授の判断に委ねられている。

3. 改善・向上に向けた取り組み

前年度の自己点検・評価の評価結果（【留意点】等）への対応も含め、改善・向上に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

<改善・向上の進捗状況>

対象年度における取組 *成果の有無を問わない、前回の自己点検・評価シート作成時点での計画の有無を問わない	
0405	シラバスの第三者点検により、教育内容、授業計画、成績評価基準等の適切性の確認を行った（2017年、2018年）[0404d]。

<今後の改善・向上計画>

項目 No.	課題事項と改善・向上方策（到達目標を含む）
404	シラバスと授業内容と整合性について、より直接的に検証できる方法を検討
404	学生の主体的参加を促す授業形態、授業内容・方法の検討
405	卒業論文の評価（審査）基準のガイドライン策定の検討

4. 根拠資料

根拠資料 No.		根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		
0404	a	2017 年度学生便覧（該当個所 pp. 114）	A
0404	b	2018 年度学生便覧（該当個所 pp. 112）	A
0404	c	シラバス「各科目」における各項目	
0404	d	シラバス記載内容における第三者点検について（依頼）	A
0404	e	魅力ある授業づくりのために https://quest.chubu.ac.jp/LessonEval/L001VIEW.do	B
0404	f	シラバス「各科目」における授業計画「授業外学習」	A
0404	g	2017 年度受講者数制限科目一覧	A
0404	h	2018 年度受講者数制限科目一覧	A
0404	i	2017 年履修相談一覧	A
0404	j	2018 年履修相談一覧	A
0405	a	学生部便 No. 183 「成績について」（該当個所 pp. 2）	A
0405	b	中部大学学則第 10 条・第 11 条	A
0405	c	中部大学学則第 18 条	A
0405	d	2017 年度学生便覧（該当個所 pp. 115）	A
0405	e	2018 年度学生便覧（該当個所 pp. 113）	A
0405	f	経営総合学科シラバス「卒業研究」	
0405	g	経営情報学部 経営総合学科「設置届出書」設置の趣旨理由書（該当個所 pp. 10）	A
0405	h	卒論の提出について（依頼）	A
0405	i	中部大学学位規定第 5 条	A
0405	j	2017 年度第 12 回教授会議事録（卒業判定教授会）	A
0405	k	2018 年度第 12 回教授会議事録（卒業判定教授会）	A

提出区分 … A：本シートと一緒に提出する資料 B：現部署で保管

2019 年度（対象年度：2017～2018 年度）自己点検・評価シート

自己評価組織	経営情報学部
--------	--------

基準 4 教育課程・学習成果（3）

1. 自己点検・評価結果 <評定>

自己評価欄に「A：高い水準で取り組んでおり、その取り組みが長所・特色となっている」「B：概ね取り組んでいるが、若干改善すべき点がある」「C：取り組んではいるが、改善すべき点が多い」「D：今後取り組んでいく」の4段階で記入してください。

項目 No.	自己点検・評価項目	自己点検・評価の視点	自己評価
0406	卒業認定・学位授与方針（DP）に明示した学生の学習成果を適切に把握および評価をしていますか。	(1) 学生の学習成果を測るための指標を定め、成果を確認していますか。 ・学習成果を測るための評価方法や評価指標	B
		(2) 成績分布、試験放棄（登録と受験の差）、進級などの実績を学部・学科として把握していますか。 ・学習成果に関する情報の把握と共有	B
		(3) 学習成果を把握および評価するために、どのような方法を用いていますか。 《学習成果の測定方法例》 ・アセスメント・テスト ・ループリックを活用した測定 ・学習成果の測定を目的とした学生調査 ・卒業生、就職先への意見聴取	B
0407	教育課程およびその内容、方法の適切性について定期的に自己点検・評価を行っていますか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っていますか。	(1) 適切な根拠資料に基づく自己点検・評価を行っていますか。 ・学習成果の測定結果の適切な活用	B
		(2) 自己点検・評価結果に基づく改善・向上に取り組んでいますか。 ・年度重点目標の設定	B

2. 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「自己点検・評価項目」毎に具体的に説明してください。

現状、「何を」規定または実施していて、「いつ」「どの会議で（誰が）」「どのように（指標・方法）」検証を行い、「どのように（基準）」自己点検していますか。
0406 学習成果の指標として Grade Point Average (GPA) 制度[0406a][0406b]を導入し、学習成果の確認や教育指導に利用している。
0406 中部大学教育支援 Tora-net portal[0406c] により学習成果（学生の出席や単位取得の状況、各科目の成績、各学期の GPA 等）に関する情報の把握と共有がなされている。

0406 進級判定を教授会で審議・承認することになっており、進級状況は学部教授会[0406d][0406e]において共有されている。	
0406 成績分布、試験放棄（登録と受験の差）、進級などの実績については、『教育・研究活動に関する実態資料』[0406f]により検証することができるが、学部学科全体で、その実態についての共有は行っていない。	
0406 個々の教員レベルでは、ルーブリックなどの学習成果の測定方法が活用されているものの、学部学科における学習成果の測定方法の改善などの組織的取り組みはなされていない。	
0407 学習成果の指標としてGPAおよび単位取得数（あるいは率）を用い、特に単位取得率の低い学生には、当該学期末から翌学期始めにかけて面談を行って面談記録[0407a]を残すなど、個別指導に活用している。	
0407 各教員が年度ごとに重点目標を掲げ、年度末に達成度および改善点について自己点検・評価[0407b][0407c]を実施し、次年度以降の改善・向上に努めている。	
長所・特色 《箇条書き》 *先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の範となるもの	
項目 No. 0407	中部大学教育支援 Tora-net portal[0407a]により、各教員は指導学生の単位取得状況を把握するとともに、取得単位数の少ない学生に対しては、最低学期ごとに個別面談を実施している。また、その結果を共有のためにWeb上に記録を残している。
項目 No. 0406	Grade Point Average (GPA) [0406a][0406b]制度を導入している。
課題事項 《箇条書き》 *改善すべき点、向上すべき点	
項目 No. 0406	学部学科全体としての学習成果の把握・評価を実施するためのアセスメント・テストや卒業生への意見聴取が実施にいたっていない点。
項目 No. 407	定期的に点検・評価を行う体制が十分に整えられていない点。

3. 改善・向上に向けた取り組み

前年度の自己点検・評価の評価結果（【留意点】等）への対応も含め、改善・向上に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

<改善・向上の進捗状況>

対象年度における取組 *成果の有無を問わない、前回の自己点検・評価シート作成時点での計画の有無を問わない	
0407	「学生による授業評価アンケート」を毎年度実施している。アンケート結果は授業担当教員にフィードバックされ、教員からのコメントを回収している。アンケート結果を授業改善に活かす取り組みについては、個々の教員に委ねられている。

<今後の改善・向上計画>

項目 No.	課題事項と改善・向上方策（到達目標を含む）
0406	学習成果の学部全体での測定の実施検討
0406	卒業生の就職追跡調査の実施検討
0406	測定結果に基づいた教育課程およびその内容、方法の適切性についての評価点検の実施の検討

4. 根拠資料

根拠資料No.		根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		
0406	a	2017 年度学生便覧 1. 履修要項の 7. GPA 制度 (該当箇所 pp. 4)	A
0406	b	2018 年度学生便覧 1. 履修要項の 7. GPA 制度 (該当箇所 pp. 4)	A
0406	c	教育支援 Tora-Net Portal https://tora-net.sti.chubu.ac.jp/portal/top.do	B
0406	d	2017 年度第 13 回教授会議事録 (進級判定教授会)	A
0406	e	2018 年度第 12 回教授会議事録 (進級判定教授会)	A
0406	f	2017 年度教育・研究活動に関する実態資料	B
0407	a	教育支援 Tora-Net Portal 内学修ポートフォリオ「面談記録」 https://tora-net.sti.chubu.ac.jp/portal/top.do	B
0407	b	2017 年度 教育活動重点目標・自己評価シート	A
0407	c	2018 年度 教員活動重点目標・自己評価シート	A

提出区分 … A: 本シートと一緒に提出する資料 B: 現部署で保管

2019 年度（対象年度：2017～2018 年度）自己点検・評価シート

自己評価組織	経営情報学部
--------	--------

基準5 学生の受け入れ

1. 自己点検・評価結果 <評定>

自己評価欄に「A：高い水準で取り組んでおり、その取り組みが長所・特色となっている」「B：概ね取り組んでいるが、若干改善すべき点がある」「C：取り組んではいるが、改善すべき点が多い」「D：今後取り組んでいく」の4段階で記入してください。

項目 No.	自己点検・評価項目	自己点検・評価の視点	自己評価
0501	入学者受入れの方針(AP) を定めて、公表していますか。	(1) 卒業認定・学位授与の方針(DP)および教育課程編成・実施の方針(CP)を踏まえた方針となっていますか。	A
		(2) 明示媒体によって、記述に齟齬はありませんか。 ・入試要項とホームページ等の媒体間の記述の統一	A
		(3) 社会に対し公表していますか。	A
		(4) 下記内容を踏まえた入学者受入れの方針(AP) の設定となっていますか。 ・入学前の学習歴、学力水準、能力等の求める学生像 ・入学希望者に求める水準等の判定方法	B
0502	入学者受入れの方針(AP) に基づき、学生募集および入学者選抜の制度や運営体制を適切に整備し、入学者選抜を公正に実施していますか。	(1) 入学者受入れの方針(AP) と入試形態は整合していますか。 ・求める学生像と入試形態との整合	A
		(2) 入学者受入れの方針(AP) に基づき、大学教育を受けるための能力・適性等を判定できる入学者選抜の方法を採用していますか。 ・教育課程の編成・実施方針 (CP) と学生募集方法、入学者選抜方法の連関 ・入学者選抜において透明性を確保するための措置	B
		(3) 入試委員会等、責任所在を明確にした入学者選抜実施のための体制の適切な整備はなされていますか。	A
		(4) 公正な入学者選抜を実施していますか。	A
		(5) 入学希望者への合理的な配慮に基づく公平な入学者選抜を実施していますか。	A

0503	適切な定員を設定し、入学者の受け入れを行うとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理していますか。	<p>(1) 入学定員および収容定員の適切な設定と在籍学生数を管理していますか。</p> <p>【学士課程】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 入学定員に対する入学者数比率 ・ 編入学定員に対する編入学生数比率 ・ 収容定員に対する在籍学生数比率 ・ 収容定員に対する在籍学生数の過剰または未充足に関する対応 <p>【修士課程、博士課程】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 収容定員に対する在籍学生数比率 	B
0504	学生募集および入学者選抜は、入学者受入れの方針(AP)に基づき、公正かつ適切に実施されているかについて、定期的に検証を行っていますか。	<p>(1) 学生募集や入学者選抜方法の適切性について検証していますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学部内委員会等において根拠資料に基づいた定期的な検証 	B
		<p>(2) 自己点検・評価結果に基づいた改善・向上を行っていますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 年度重点目標の設定 	B

2. 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「自己点検・評価項目」毎に具体的に説明してください。

<p>現状、「何を」規定または実施していて、「いつ」「どの会議で（誰が）」「どのように（指標・方法）」検証を行い、「どのように（基準）」自己点検していますか。</p>
<p>0501 卒業認定・学位授与の方針(DP)および教育課程編成・実施の方針(CP)を踏まえ、入学者受入れの方針(AP) [0501a]を規定している。</p> <p>0501 「2019年度大学入試要項」(2018年度大学入試要項も同一) [0501b]では、その最初のページにおいて「本学は、各学科の3つのポリシーをホームページ上で公表しています。」として、大学HP上の「情報公開」のページのAPを参照するように記述されており、入試要項とホームページの記述に齟齬は起こり得ない。</p> <p>0501 AP[0501a]は、大学HP上の「情報公開」のページにて、広く社会に公表している。</p> <p>0501 AP[0501a]は、入学前の学習歴、学力水準、能力等の学生像、および、判定方法を踏まえた設定になっている。</p> <p>0502 AP[0501a]では4つの求める人間像が示されており、それに対応すべく多様な入試形態、一般試験については対応する選択科目を設けるなど、学部の求める多様な入学者を選抜するにふさわしい、さまざまな入学者選抜方法 [0502a]が用意されている。</p> <p>0502 入学者選抜において透明性を確保するための措置として、過去問題[0502b]や合格者最低点を公表している。</p> <p>0502 A0入学者の基礎学力（フレッシュマンテストの点数）や入学後の成績に鑑み、2018年度A0入試[0502c]において、入学後の授業対応力の確認ができる選抜方法を開発、実施した。</p> <p>0502 大学の入試・選抜委員会の場で合否判定の原案が示された後、学部の入学者選抜委員会[0502d]にてその原案の検討を行い、調整を図り、再び大学の入試・選抜委員会[0502e]において最終的な合否判定がなされることになっており、責任所在を明確にした入学者選抜実施のための体制が適切に整備されている。</p>

0502 合否判定は受験者氏名等を伏した上で、試験の評価（点数）[0502f]によつてのみによつておこなわれ、公正な入試選抜を実施しているといえる。	
0502 出願資格に障がいの有無や出自などは設けておらず、全ての受験者[0501b]への合理的な配慮に基づく公平な入学者選抜を実施している。	
0503 定員に対する入学者数比率[0503a]については、近年の入学定員厳格化の要請の下、充足率1.0に近づけるよう、最大限の努力が行われている。また、収容定員に対する在籍学生数比率、収容定員に対する在籍学生数の過剰または、未充足に関する対応は、入試における合格者数の調整に加え、退学者等の抑制努力により、最大限の努力を行っている。	
0504 2018年度入試および2019年度入試において、学生募集や入学者選抜方法の適切性については、年度始めの主任会において、入試種別ごとの志願・入学の状況、入試種別ごとの入学時のフレッシュマンテストの状況、入試種別ごとの在籍学生の単位取得やGPAのデータ[0504a][0504b]に基づいて検証を行っている。入試区分の定員等は大学の方針により決定されるが、主任会にて、入学者の状況などを勘案しての指定校の見直し、A0ポートフォリオ入試の実施内容や選抜方針などの検討を行い、その検証を定期的に行っている。	
長所・特色 <簡条書き> *先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の範となるもの	
項目 No. 0504	入試種別ごとの志願・入学の状況、入試種別ごとの入学時のフレッシュマンテストの状況、入試種別ごと（あるいは出身高校別）の在籍学生の単位取得やGPAのデータなどを参考に、指定校の見直しやA0入試の選抜・評価方法の見直しを毎年行っている。
項目 No.	
課題事項 <簡条書き> *改善すべき点、向上すべき点	
項目 No.	特になし
項目 No.	

3. 改善・向上に向けた取り組み

前年度の自己点検・評価の評価結果（【留意点】等）への対応も含め、改善・向上に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

<改善・向上の進捗状況>

対象年度における取組 *成果の有無を問わない、前回の自己点検・評価シート作成時点での計画の有無を問わない	
0502	A0入学者の基礎学力（フレッシュマンテストの点数）や入学後の成績に鑑み、2018年度A0入試において、入学後の授業対応力の確認ができる選抜方法を開発、実施した[0502c]。
0504	2018年度推薦試験について、入学後の成績状況などを考慮し、指定校の成績基準や定員枠の見直しを行った。 [0504c]
0504	2019年度推薦試験について、入学後の成績状況などを考慮し、指定校の成績基準や定員枠の見直しを行った。 [0504d]
0504	2017年、2018年ともに学生募集活動、入学者選抜の状況や課題については、定期的に主任会に報告・検討され、その実施についての評価・点検が行われている。

<今後の改善・向上計画>

項目 No.	課題事項と改善・向上方策（到達目標を含む）
0504	学生募集および入学者選抜方法の全般にわたる検証と、それに基づく改善・向上の実施。
0504	A0ポートフォリオ入試において、意欲ある入学者を選抜するための方法の開発と実施。

4. 根拠資料

根拠資料 No.		根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		
0501	a	中部大学ホームページ内「情報公表」入学者受入れの方針(AP) https://www3.chubu.ac.jp/facts_figures/study/undergraduate_list/	A
0501	b	2019年度中部大学入試要項 https://adm.chubu.ac.jp/news/2019yoko.pdf	A
0502	a	中部大学受験生サイト https://adm.chubu.ac.jp/entrance_exams/guidelines/	A
0502	b	中部大学入学ガイド	A
0502	c	2019年度 A0 ポートフォリオ入試問題（課題）	B
0502	d	経営情報学部入学者選抜委員会規程	A
0502	e	中部大学入試・選抜委員会規程	A
0502	f	入試・選抜委員会の判定資料	B
0503	a	中部大学入学者数（2019年度入試）	A
0504	a	2017年度 経営情報学部主任会議議事録	A
0504	b	2018年度 経営情報学部主任会議議事録	A
0504	c	中部大学指定校基準 2018年度入試用	B
0504	d	中部大学指定校基準 2019年度入試用	B

提出区分 … A：本シートと一緒に提出する資料 B：現部署で保管

2019 年度（対象年度：2017～2018 年度）自己点検・評価シート

自己評価組織	経営情報学部
--------	--------

基準6 教員・教員組織

1. 自己点検・評価結果 <評定>

自己評価欄に「A：高い水準で取り組んでおり、その取り組みが長所・特色となっている」「B：概ね取り組んでいるが、若干改善すべき点がある」「C：取り組んではいるが、改善すべき点が多い」「D：今後取り組んでいく」の4段階で記入してください。

項目 No.	自己点検・評価項目	自己点検・評価の視点	自己評価
0602	教員組織の編制に関する方針に基づき、教育研究活動を展開するため、適切に教員組織を編制していますか。	(1) 大学全体および学部・研究科等ごとの専任教員数は、適切ですか。	B
		(2) 教育理念・目的を実現できる教員組織を編制していますか。(方針等に基づく組織編制の明確化) ・教育上主要と認められる授業科目における専任教員(教授、准教授、講師または助教)の適正な配置 ・研究科担当教員の資格の明確化と適正な配置 ・各学位課程の目的に即した教員配置(国際性、男女比等も含む) ・教員の授業担当負担への適切な配慮 ・バランスのとれた年齢構成に配慮した教員配置	B
		(3) 学士課程における教養教育の運営体制を整備していますか。	B
0603	教員の募集・採用・昇格等を適切に行っていますか。	(1) 教員人事関連規程が整備され、適切な手続きによる運用をしていますか。 ・教員の募集・採用・昇格等に関する規程の整備および手続きの設定	B
		(2) 規程等に従った適切な教員人事(募集、採用、昇任等)を実施していますか。	B
0604	ファカルティ・ディベロップメント(FD)活動を組織的かつ多面的に実施し、教員の資質向上および教員組織の改善・向上につなげていますか。	(1) FD活動を組織的に実施していますか。	C
		(2) 点検・評価結果に基づく改善・向上の取り組みを行っていますか。 ・年度重点目標の設定	B
0605	教員組織の適切性について定期的に自己点検・評価を行っていますか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っていますか。	(1) 適切な根拠資料に基づく自己点検・評価を実施していますか。	B
		(2) 自己点検・評価結果に基づく改善・向上の取り組みを行っていますか。 ・年度重点目標の設定	B

2. 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「自己点検・評価項目」毎に具体的に説明してください。

現状、「何を」規定または実施していて、「いつ」「どの会議で（誰が）」「どのように（指標・方法）」検証を行い、「どのように（基準）」自己点検していますか。	
0602	学部の専任教員数について、大学設置基準の人数[0602a]は満たしているものの、分野の偏りが見られる。
0602	教育上主要と認められる授業科目について、基本的には専任教員（教授、准教授、講師または助教）[0602b]で、実施できる教員配置となっている。また、女性教員、外国人教員も一定数おり、バランスのとれた構成となっている。
0602	教養教育の運営体制は、2017年度においては全学共通教育部、2018年度においては人間力創成総合教育センター[0602c]において整備しており、学科教員も一部の全学共通教育科目を担当している。
0603	教員組織、昇格などの教員人事については、中部大学教員資格基準、および学部内規で明確化されている。ただし、募集・採用に関する規定は学部では定めていない[0603a] [0603b]。
0604	学部にFD委員を置くとともに、前年度末に次年度の重点目標の設定を行って、全学のFD委員会に提出し点検を受け、当該年度の翌年度始めに目標の達成度を振り返る活動報告書[0604a]を全学のFD委員会[0604b]に提出して点検を受けることになっている。
0605	年齢構成、国際性、男女比、専門分野などを含めた教員組織の適切性については、カリキュラム改正や新規採用人事を実施する際に、都度、学部長や主任会議[0605a][0605b][0605c]などにおいて検討が加えられている。
0605	年度始めに各教員が重点目標の設定を行い、年度末に自己点検・評価[0605d][0605e]を行うことで、エビデンスに基づく点検評価を実施しており、また、『教育・研究活動に関する実態資料』などのエビデンスから教員組織の適切性の確認ができるものの、組織全体としての点検・評価や組織的な目標設定の実施などにはいたっていない。
長所・特色 《箇条書き》 *先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の範となるもの	
項目 No.	特になし
項目 No.	
課題事項 《箇条書き》 *改善すべき点、向上すべき点	
項目 No. 604	学部内のFD活動がきわめて不活発である。
項目 No. 605	教員組織全体としてのエビデンスに基づく点検・評価を行うシステムの構築や組織的な目標設定をした改善・向上を検討する必要がある。

3. 改善・向上に向けた取り組み

前年度の自己点検・評価の評価結果（【留意点】等）への対応も含め、改善・向上に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

<改善・向上の進捗状況>

対象年度における取組 *成果の有無を問わない、前回の自己点検・評価シート作成時点での計画の有無を問わない	
0604	カリキュラム改正や新規採用人事を実施する際など、随時、教員組織の適切性についての検証を行っている。

<今後の改善・向上計画>

項目 No.	課題事項と改善・向上方策（到達目標を含む）
0602	教員組織における分野バランスを是正する（情報分野の教員採用）。

0604	2019年度以降、活発なFD活動を計画・実施していく。
0605	教員組織の適切性についての定期的な検証を実施していく。

4. 根拠資料

根拠資料 No.		根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		
0602	a	中部大学 法令定員と教員組織 [2018年度] https://www3.chubu.ac.jp/attach/facts_figures/data/1-05.pdf#page=1	A
0602	b	中部大学 教員数[2018年度] https://www3.chubu.ac.jp/attach/facts_figures/data/1-06.pdf#page=1	A
0602	c	人間力創成総合教育センター規程	A
0603	a	中部大学教員資格基準 大学 HP https://www2.chubu.ac.jp/faculty_staff/regulation/main.php?menu=mokuji	A
0603	b	経営情報学部 教員資格および大学院担当資格基準	B
0604	a	2017年度学部等におけるFD活動評価点検報告書 https://www3.chubu.ac.jp/university_education/evaluation/	A
0604	b	中部大学FD委員会規程	A
0605	a	主任会の位置づけ	A
0605	b	2017年度経営情報学部主任会議事録	A
0605	c	2018年度経営情報学部主任会議事録	A
0605	d	2017年度教育活動重点目標・自己評価シート	A
0605	e	2018年度教員活動重点目標・自己評価シート	A

提出区分 … A:本シートと一緒に提出する資料 B:現部署で保管

2019 年度（対象年度：2017～2018 年度）自己点検・評価シート

自己評価組織	経営情報学部
--------	--------

基準7	学生支援
-----	------

1. 自己点検・評価結果 <評定>

自己評価欄に「A：高い水準で取り組んでおり、その取り組みが長所・特色となっている」「B：概ね取り組んでいるが、若干改善すべき点がある」「C：取り組んではいるが、改善すべき点が多い」「D：今後取り組んでいく」の4段階で記入してください。

項目 No.	自己点検・評価項目	自己点検・評価の視点	自己評価
0702	学生支援に関する大学としての方針に基づき、学生支援の体制を整備していますか。また、学生支援は適切に行っていますか。	(2) 学生の修学に関する適切な支援を実施していますか。 ・学生の能力に応じた補習教育、補充教育 ・正課外教育 ・留学生等の多様な学生に対する修学支援 ・障がいのある学生に対する修学支援 ・成績不振の学生の状況把握と指導 ・留年者および休学者の状況把握と対応 ・退学希望者の状況把握と対応	B
		(4) 学生の生活に関する適切な支援を実施していますか。 ・学生の相談に応じる体制の整備 ・ハラスメント防止のための体制の整備および啓発活動 ・心身の健康維持・増進および安全への取り組み ・生活支援面において、方針の目的（安全で安定した学生生活を送るための基盤整備等）の支援	B
		(5) 学生の進路に関する適切な支援を実施していますか。 ・学生のキャリア支援を行うための体制（学部との協力・連携を含む）の整備 ・進路選択に関わる支援やガイダンスの実施 ・キャリア支援講座などの実施	B
		(6) インターンシップは十分に実施していますか。	B
		(8) 学生の要望に対応した学生支援を適切に実施していますか。 キャリア支援、保健管理、スポーツおよび文化活動の強化	B

2. 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「自己点検・評価項目」毎に具体的に説明してください。

現状、「何を」規定または実施していて、「いつ」「どの会議で（誰が）」「どのように（指標・方法）」検証を行い、「どのように（基準）」自己点検していますか。	
0702	学生の能力に応じた補習教育を行う場として、学習支援室[0702a]における学習支援が行われている。
0702	多様な学生の修学に関する適切な支援を実施するため、1年次から4年次まで少人数のゼミナールを設置[0702b][0702c]し、学生の能力・志向に応じたきめ細かな修学支援を実施している。
0702	正課外教育としては、大規模な総合大学のメリットを活かした豊富な国際交流プログラム[0702d]、キャリア支援プログラム[0702e]、大学独自資格（地域活性化リーダー[0702f]・地域創生メディエーター等[0702g]）など、さまざまな課外活動の用意がされている。
0702	成績不振者については、おもに指導教授が教育支援 Tora-net portal[0702h]内の学修ポートフォリオにより状況把握を行うとともに、学期ごとに成績不振者を個別に呼び出して面談・指導を行い、また、その内容はWeb上に記録し、情報の共有がなされている。
0702	留年者については、進級判定の教授会[0702i][0702j]を実施し、情報の共有がなされている。
0702	休学者については、休学に入る前に指導教授が面談を行い、休学者に関する意見書[0702k]を作成するとともに、学生の作成する復学計画書[0702l]の作成を指導し、休学中のケアを行っている。
0702	学生の相談に応じる体制としては、オフィスアワーその他の時間に指導教授が対応するほか、内容によっては、学生相談室[0702m]を活用している。
0702	ハラスメント防止[0702n]のための体制としては、指導教授や学科主任による対応がなされている他、全学組織として、相談窓口、相談委員、およびハラスメント調査委員会が適切に対応する体制が用意されている。
0702	キャリア支援に関しては、キャリア開発担当教員がキャリア委員会規程[0702o]のもと、キャリア支援課と連携して各種ガイダンスやキャリア支援行事を実施している。また、主にゼミ単位で、各教員が指導生の就職指導やキャリア支援を行っている他、4年生の進路状況調査を定期的実施し、未内定者をキャリア支援課に繋ぐなどの役割を果たしている。また、毎月の教授会[0702p][0702q]にて、キャリア開発担当教員によりその月に実施されるキャリア支援行事の案内、周知がなされる。
0702	インターンシップについては、学部共通の正課科目として「インターンシップA・B」を設置しており、毎年多くの学生が参加するほか、学部の専門科目である「自主活動A・B」では課題解決型のインターンシップを実施している。
長所・特色 《箇条書き》 *先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の範となるもの	
項目 No. 0702	特になし
項目 No.	
課題事項 《箇条書き》 *改善すべき点、向上すべき点	
項目 No.	特になし
項目 No.	

3. 改善・向上に向けた取り組み

前年度の自己点検・評価の評価結果（【留意点】等）への対応も含め、改善・向上に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

<改善・向上の進捗状況>

対象年度における取組 *成果の有無を問わない、前回の自己点検・評価シート作成時点での計画の有無を問わない	
0702	学部独自のキャリア支援行事として、2017年、2018年ともにビジネスマナー研修[0702r][0702s]を学部2・3年生対象に実施した。

<今後の改善・向上計画>

項目 No.	課題事項と改善・向上方策（到達目標を含む）
0702	インターンシップに関して、学部独自の説明会や研修を実施する。
0702	学生支援についての教員間の温度差を解消するとともに、学部としての組織的支援体制を構築する。

4. 根拠資料

根拠資料 No.		根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		
0702	a	学習支援室 https://www3.chubu.ac.jp/student_life/support/study_support_room/	A
0702	b	2017 年度学生便覧（該当箇所 p. 120）	A
0702	c	2018 年度学生便覧（該当箇所 p. 118）	A
0702	d	留学・海外研修プログラム https://www3.chubu.ac.jp/international_exchange/program/	A
0702	e	キャリア形成支援プログラム https://www3.chubu.ac.jp/career/support2/	A
0702	f	地域活性化リーダー資格取得ガイド https://www3.chubu.ac.jp/coc-plus/	A
0702	g	地域創生メディエーター https://www3.chubu.ac.jp/innovation_mediator/	A
0702	h	教育支援 Tora-net portal https://tora-net.sti.chubu.ac.jp/portal/top.do	A
0702	i	2017 年度第 13 回教授会議事録（進級判定教授会）	A
0702	j	2018 年度第 12 回教授会議事録（進級判定教授会）	A
0702	k	休学者に関する意見書	A
0702	l	復学計画書	A
0702	m	学生相談室 https://www3.chubu.ac.jp/health_promotion/counseling_room/	A
0702	n	ハラスメントの防止等に関する指針 https://www.chubu.ac.jp/current_students/warning/harrasment/index.html	A
0702	o	中部大学キャリア委員会規程	A
0702	p	2017 年度経営情報学部教授会議事録	A
0702	q	2018 年度経営情報学部教授会議事録	A
0702	r	2017 年度経営情報学部ビジネスマナー講座開催のお知らせ（メール）	A
0702	s	2018 年度経営情報学部ビジネスマナー講座開催のお知らせ（メール）	A

提出区分 … A：本シートと一緒に提出する資料 B：現部署で保管

2019 年度（対象年度：2017～2018 年度）自己点検・評価シート

自己評価組織	経営情報学部
--------	--------

基準 8 教育研究等環境

1. 自己点検・評価結果 < 評定 >

自己評価欄に「A：高い水準で取り組んでおり、その取り組みが長所・特色となっている」「B：概ね取り組んでいるが、若干改善すべき点がある」「C：取り組んではいるが、改善すべき点が多い」「D：今後取り組んでいく」の4段階で記入してください。

項目 No.	自己点検・評価項目	自己点検・評価の視点	自己評価
0802	教育研究等環境に関する方針に基づき、必要な校地および校舎を有し、かつ運動場等の教育研究活動に必要な施設および設備を整備していますか。	(1)教育課程の特徴、学生数、教育方法に応じた施設・設備の充実を図っていますか。	B
0806	教育研究等環境の適切性について定期的に自己点検・評価を行っていますか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っていますか。	(1)適切な根拠資料に基づく自己点検・評価を実施していますか。	B
		(2)自己点検・評価結果に基づく改善・向上の取り組みを行っていますか。 ・年度重点目標の設定	B

2. 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「自己点検・評価項目」毎に具体的に説明してください。

現状、「何を」規定または実施していて、「いつ」「どの会議で（誰が）」「どのように（指標・方法）」検証を行い、「どのように（基準）」自己点検していますか。	
0802 教育研究上必要とされる施設設備等については、「2019年度の学部等重点事業計画について」[0802a]・「平成30年度の学部等重点事業計画について」[0802b]において施設等に関する物的整備の要請を行った。	
0806 主任会において、教育研究等環境の適切性について適宜、検討を行っている。例えば、講義室、ゼミ室、共同計算機室などの整備が必要な場合には、主任会[0806b][0806d]や教授会[0806a][0806c]で検討、承認、報告などが行われ、その上で実行される体制となっている。ただし、その適切性について定期的に点検・評価を行うシステムは構築されていない。	
長所・特色 << 箇条書き >> *先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の範となるもの	
項目 No. 0806	特になし
項目 No.	
課題事項 << 箇条書き >> *改善すべき点、向上すべき点	
項目 No. 0806	教育研究等環境の適切性について定期的に点検・評価を行うシステムが構築されていない点。
項目 No.	

3. 改善・向上に向けた取り組み

前年度の自己点検・評価の評価結果（【留意点】等）への対応も含め、改善・向上に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

<改善・向上の進捗状況>

対象年度における取組 *成果の有無を問わない、前回の自己点検・評価シート作成時点での計画の有無を問わない	
0806	必要に応じて、都度、検討・整備を行っているが、定期的な点検・評価システムの構築は、現在、検討中。

<今後の改善・向上計画>

項目 No.	課題事項と改善・向上方策（到達目標を含む）
0806	50名程度収容可能なアクティブラーニング教室を整備する。
0806	今後、毎年度実施される自己点検・評価において定期的に検証していく。

4. 根拠資料

根拠資料 No.		根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		
0802	a	2019年度の学部等重点事業計画について	B
0802	b	2018年度の学部等重点事業計画について	B
0806	a	2017年度第4回・14回経営情報学部教授会議事録	A
0806	b	2017年度第4回・5回・7回・10回・11回経営情報学部主任会議事録	A
0806	c	2018年度第4回・11回経営情報学部教授会議事録	A
0806	d	2018年度第4回経営情報学部主任会議事録	A

提出区分 … A：本シートと一緒に提出する資料 B：現部署で保管

2019 年度（対象年度：2017～2018 年度）自己点検・評価シート

自己評価組織	経営情報学部
--------	--------

基準 9 社会連携・社会貢献

1. 自己点検・評価結果 < 評定 >

自己評価欄に「A：高い水準で取り組んでおり、その取り組みが長所・特色となっている」「B：概ね取り組んでいるが、若干改善すべき点がある」「C：取り組んではいるが、改善すべき点が多い」「D：今後取り組んでいく」の4段階で記入してください。

項目 No.	自己点検・評価項目	自己点検・評価の視点	自己評価
0902	社会連携・社会貢献に関する方針に基づき、社会連携・社会貢献に関する取り組みを実施していますか。また、教育研究成果を適切に社会に還元していますか。	(2) 社会連携・社会貢献に関する活動による教育研究活動を推進していますか。	B
		(3) 地域交流・国際交流事業への参加などに取り組んでいますか。	B

2. 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「自己点検・評価項目」毎に具体的に説明してください。

現状、「何を」規定または実施していて、「いつ」「どの会議で（誰が）」「どのように（指標・方法）」検証を行い、「どのように（基準）」自己点検していますか。	
0902 COC 事業などの全学的取り組み、教員（ゼミ）単位での取り組みの他、学科には、社会連携を前提とする科目である「自主活動 A・B」[0902a]を配置している。	
0902 大学が実施している生涯教育のオープンカレッジ[0902b][0902c][0902d][0902e]に学部の多くの科目を開放している。	
0902 教員個人単位では、各教員のゼミ活動、課外活動、研究活動において、さまざまな社会連携や地域交流、社会貢献活動が行われているものの、組織的な活動としての取り組みには至っていない。	
長所・特色 << 箇条書き >> *先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の範となるもの	
項目 No.	特になし
項目 No.	
課題事項 << 箇条書き >> *改善すべき点、向上すべき点	
項目 No.	特になし
項目 No.	

3. 改善・向上に向けた取り組み

前年度の自己点検・評価の評価結果（【留意点】等）への対応も含め、改善・向上に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

< 改善・向上の進捗状況 >

対象年度における取組 *成果の有無を問わない、前回の自己点検・評価シート作成時点での計画の有無を問わない
0902 教員個人単位では、各教員のゼミ活動、課外活動、研究活動において、さまざまな社会連携や地域交流、社会貢献活動が行われている。

<今後の改善・向上計画>

項目 No.	課題事項と改善・向上方策 (到達目標を含む)
0902	これまで個人で行われてきた活動等を組織的に実施するための方策について検討する。
0902	2019年度より、新たに社会連携教育の授業を開始する。

4. 根拠資料

根拠資料 No.		根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		
0902	a	経営総合学科「自主活動A」および「自主活動B」の運用について	A
0902	b	2017年度春学期オープンカレッジ開講科目一覧 https://www3.chubu.ac.jp/extension/news/11064/	A
0902	c	2017年度秋学期オープンカレッジ開講科目一覧 https://www3.chubu.ac.jp/extension/news/12868/	A
0902	d	2018年度春学期オープンカレッジ開講科目一覧 https://www3.chubu.ac.jp/extension/news/23418/	A
0902	e	2018年度秋学期オープンカレッジ開講科目一覧 https://www3.chubu.ac.jp/extension/news/23924/	A

提出区分 … A:本シートと一緒に提出する資料 B:現部署で保管

2019 年度（対象年度：2017～2018 年度）自己点検・評価シート

自己評価組織	経営情報学部
--------	--------

基準 11 大学独自の評価項目

1. 自己点検・評価結果 <評定>

自己評価欄に「A：高い水準で取り組んでおり、その取り組みが長所・特色となっている」「B：概ね取り組んでいるが、若干改善すべき点がある」「C：取り組んではいるが、改善すべき点が多い」「D：今後取り組んでいく」の4段階で記入してください。

項目 No.	自己点検・評価項目	自己点検・評価の視点	自己評価
1120	管理運営組織および教育研究組織において、継続的に業務内容の点検を行っていますか。	(2)委員会活動の検証 ・開催、および議事録作成に関する手続きは、適切に行っていますか。	B

2. 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「自己点検・評価項目」毎に具体的に説明してください。

現状、「何を」規定または実施していて、「いつ」「どの会議で（誰が）」「どのように（指標・方法）」検証を行い、「どのように（基準）」自己点検していますか。	
1120 学部の各種委員会は必要に応じて、随時、開催され、組織の運営は適切に行われている。また、委員会の議事録[1120a][1120b][1120c][1120d][1120e][1120f]はおおむね作成されている。また、毎年、年度開始前に、各委員会の必要性などを提案して、委員会の新設や統廃合、およびそのメンバーについては、主任会で検討し、教授会で審議[1120g][1120h]決定されている。	
長所・特色 <<箇条書き>> *先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の範となるもの	
項目 No. 1120	特になし
項目 No.	
課題事項 <<箇条書き>> *改善すべき点、向上すべき点	
項目 No. 1120	学部内委員会の検討・決定事項が漏れなく教授会で報告されているわけではない。
項目 No.	

3. 改善・向上に向けた取り組み

前年度の自己点検・評価の評価結果（【留意点】等）への対応も含め、改善・向上に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

<改善・向上の進捗状況>

対象年度における取組 *成果の有無を問わない、前回の自己点検・評価シート作成時点での計画の有無を問わない	
1120	学部内の各種委員会[1120g][1120h]については、その必要性や活動実績などをもとに、その存続や活動方針等に関して毎年見直しを行っている。

<今後の改善・向上計画>

項目 No.	課題事項と改善・向上方策（到達目標を含む）
1120	学部内委員会での検討・決定事項については、すべて学部教授会での報告が行われるよう、構成員への周知徹底を行う。
1120	今後、毎年度実施される自己点検・評価において定期的に検証する。

4. 根拠資料

根拠資料 No.		根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		
1120	a	2017 年度 経営情報学部教授会議事録	A
1120	b	2018 年度 経営情報学部教授会議事録	A
1120	c	2017 年度 経営情報学部主任会議事録	A
1120	d	2018 年度 経営情報学部主任会議事録	A
1120	e	2017 年度 経営情報学部入学者選抜委員会議事録	A
1120	f	2018 年度 経営情報学部入学者選抜委員会議事録	A
1120	g	2017 年度 経営情報学部業務分担	A
1120	h	2018 年度 経営情報学部業務分担	A

提出区分 … A：本シートと一緒に提出する資料 B：現部署で保管